

「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」令和元年度総会 開催

(公社)日本観光振興協会が事務局をつとめる「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」では、6月27日(木)に令和元年度の総会を開催しました。

冒頭には、会長 細野助博からの挨拶の後、観光庁 審議官 高科淳様、経済産業省 クールジャパン戦略室 室長 橋本文子様、国税庁 酒税課 酒税企画官 齋藤隆夫様よりご挨拶がありました。

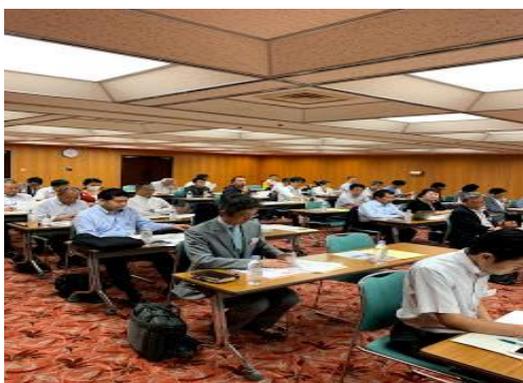
会議では、平成30年度の事業報告・決算、令和元年度事業計画・収支予算、規約の改正、役員体制の議案が承認されました。

令和元年度の計画としては、(1)研修事業、(2)会員合同プロモーション事業および(3)協議会自主事業が主な内容となっています。(1)研修事業では通訳案内士・観光関係者および協議会会員向けの研修を東京(2回)および大阪(1回)で開催予定です。また、酒蔵英語ガイド(外国人受入態勢標準化ツール)の中国語版を作成予定です。(2)会員合同プロモーション事業では、初めて大阪で開催されるツーリズム EXPO ジャパン 2019(10月24日~27日 インテックス大阪)に、昨年同様、「酒蔵ツーリズムブース」を出展し、海外旅行会社・メディア向けのセミナーや商談会および一般来場者へのプロモーションイベント等を実施予定です。

役員体制としては、会長に中央大学 名誉教授 細野助博、副会長に株式会社佐浦 代表取締役社長 佐浦弘一、東北・夢の桜街道推進協議会 事務局長 宮坂不二夫、(公社)日本観光振興協会 副理事長 久保田穰という前年度同様の体制のもと、行政運営委員14名、民間運営委員20名が引き続き就任しました。

総会終了後には、兵庫県北播磨エリアおよび飛騨エリアにおける酒蔵ツーリズムの取り組みについて、兵庫県東京事務所 課長 植杉武生様、飛騨地酒ツーリズム協議会 会長 平瀬市兵衛様よりそれぞれ講演を行っていただきました。

日本酒蔵ツーリズム推進協議会は今年度より地域とのネットワークを持つ当協会の内部組織とする運営体制の変更を行い、都道府県等の地方自治体、観光協会、DMO、観光関連団体・企業等と酒蔵が一層連携することで、酒蔵ツーリズム事業の継続・発展を目指して参ります。



総会会場の様子



講演の様子